

翔

№ 47 1. XII. 1984

百万石蝶談会

HYAKUMANGOKU-TYŌDANKAI

中宮のスギタニルリシジミ

中西 重雄

私はオダスギタニルリシジミなるモノを採集していなかったので、中宮あたりまで行けば、トチの木も多く採集できるのではないかと思ひ、中宮温泉へと出かけました。

1983年5月10日(火曜)、天候は晴れで、とても気持ちの良い日でした。

中宮温泉の旅館の上の沢谷いに登って10分位の河原で、吸水に来るスギタニルリシジミを待つて採集しました。

次々と吸水に来るのだが、時期的に少し遅くボロが多いようでした。若干、採集して来たので、報告しておきます。

石川郡吉野谷村中宮温泉 1983.5.10

スギタニルリシジミ 3881号

河北郡津幡町太田地区にてオオヒカゲ幼虫を採集す

中西 重雄

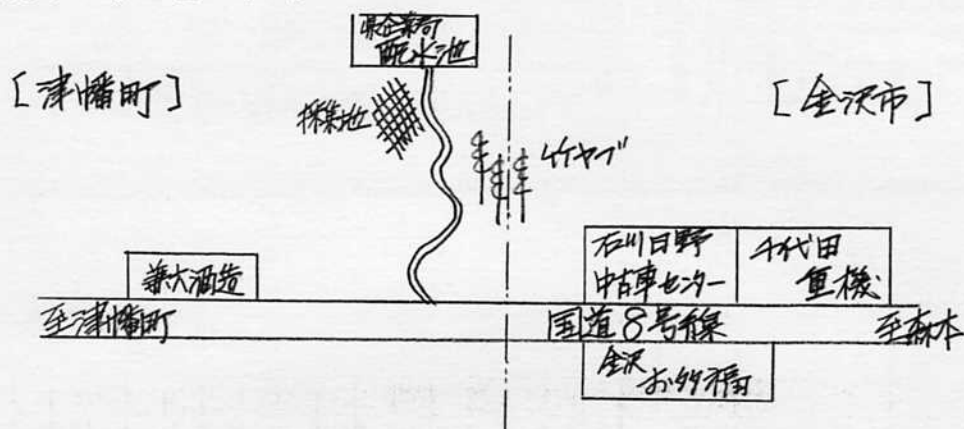
1983年5月7日(土曜)雨。この地は、前年より仕事で3ヶ月ほど通った所で、オオヒカゲ成虫を目撃した場所でもある。

成虫採集に2夜ほど通ったが、採集することができなかった。それならば、幼虫で採集しようと思ひ、道路沿いのスゲを探したところ、連日採集することができたので報告する。

場所は、金沢市との境で、県企業局の配水池専用道路わきの谷の湿地で、スゲ(カサスゲと思われる)が、びっしりと自生している。

オオヒカゲ、金根捜しから始めようと思ひ、湿地のスゲに目をやると、

一刀両断されたスゲが2本ほどあり、よく捜すと1頭のオオヒカゲの幼虫がついていた。



初めの1頭はすぐに採れたが、2頭目がなかなか採れず、じっくりスゲの林を捜したところ、なんと5頭(3令幼虫)を採集した。なお、飼育の結果、4羽が羽化した。

参考文献

翔 №19
翔 №39

オオヒカゲに関する特集号
オオヒカゲの食草の記録

嶋根・諸道 松井(1980)
松井正人(1983)

1983年はアサマシジミの大豊作

松井 正人

今年1983年は例年になく晴天の日が続いている。5月16日の雨以来、今日、6月5日まで雨が降っていないので、きっと白山の谷も水が少ないのではないかと鬼い、蛇谷に入る事にした。

今年アサマシジミの大発生らしく、数年絶えていた過去の発生地や白山自然保護センターの前庭でも発生していると情報が入っていたので、これまでの調査で食草はあるが、アサマシジミの生息が確認されていなかった所を調査することにした。

枝谷出合トイワオウギのあることが以前より知られているが、これまでアサマシジミは発見されていなかった。

ところが、今年はやっはり大豊作らしく、幼虫はたくさんついていた。時期が遅かったのが、3株のトイワオウギは既にボロボロに食われているにもかかわらず幼虫の姿は全く見受けられなかったが、

付近のイワオウギ数株より2〜終令幼虫がたくさん見つかり、又根際からも幼虫が見つかった。

枝谷は合は枝谷がオモ谷に合流している地点で、この谷の中では最も平坦で広い場所であるために、最下流にあるような河原があり、ここに食草のイワオウギがある。

2年前の食草発見当時より、何故アサマシジミがいなかったのか不思議でならなかった。

※) 翔 №26 尾赤川水系アサマシジミ調査マップ 松井正人(1982)

オオゴマシジミ採集行

吉村 貴己

1983年7月31日、東京へ帰るついでにオオゴマシジミを求めて、平湯、白根温泉周辺をヒンクラ氏と共に走り回った。朝、カムリ2000GTで金沢を出発し、9時頃に平湯温泉に到着した。平湯温泉のオオゴマシジミのポイントは、平湯民族資料館の奥の背丈ほどあるススキヤクマザサで覆われた斜面だった。筆者はこの場所をヒンクラ氏、吉岡氏と共に2年ほど前に探索してスズメバチに襲われた経験があり、少々敬遠したい場所でしたが、どうしてもオオゴマシジミが欲しいので、今回、2回目のアタックとなった。

このポイントは、以前 嵯峨井氏から、1日に20頭ほどの収穫を得た場所として知らされたところだった。嵯峨井氏は、このポイントに行くにはかまが必要だとアドバイスして下さったのだが、前回のチャレンジの際は草こぎだけでがんばってみた。そのせいか、坊主に終わってしまった。

今回は、かまを持参し、採集が終わったら平湯温泉に入ろうと、前々から考えてアタックを開始した。

このポイントは両側を林にはさまれた斜面にあるが、下部はまだらかた上部が急になっている。下部にはオオゴマシジミの食草であるクロバナヒキオコシが咲いており、前回のアタックの時には、その上を飛ぶ青い蝶を一頭目撃していた。

前回のアタックの時には斜面の角度の変わる所までだったが、今回は相当、上部までアタックした。角度の変わるあたりで、飛びまわる蝶を採集したが、何とそれはボロボロのエゾミドリシジミだった。

しばらく辺りを探索したが、結局、ボウズに終わった。仕方がないので平湯温泉につかり、白眉温泉方面にアタックすることにした。白眉温泉では、以前ヒンクラ氏が松本のM氏と共にオオイチモンジを採って入ったことのある白眉温泉湯川谷に入ってみた。湯川谷には車道があったが、車が入れないので入口に車を止め、林道をヒンクラ氏と共にネットを片手に歩いてみた。その結果、小さな沢の予前でヒンクラ氏が道端のクガイソウで吸蜜していたオオゴマシジミ1♂を採集した。オオゴマシジミの他にキバネセセリ、アイノミドリシジミ♀(A)を採集した。この日は平湯、白眉両ポイント以外に、上高地乗鞍スーパー林道沿線、白眉温泉スキー場などにも立ち寄り、いくらかの蝶を採集した。

採集データ

1983年7月31日

若村久貴・貴己採集

岐阜県平湯温泉

ナミヒカゲ 1ex
セセリ sp 1♀

長野県白眉温泉

オオゴマシジミ 1♂
ヒメシジミ 2♂♂1♀
アイノミドリシジミ 1♀(A)
キバネセセリ 1♂
ゴキョウモン 2exs
イチモンジセセリ 1♂2♀♀
セセリ sp 2exs

オオヒカゲの眼状紋異常型

野中 勝

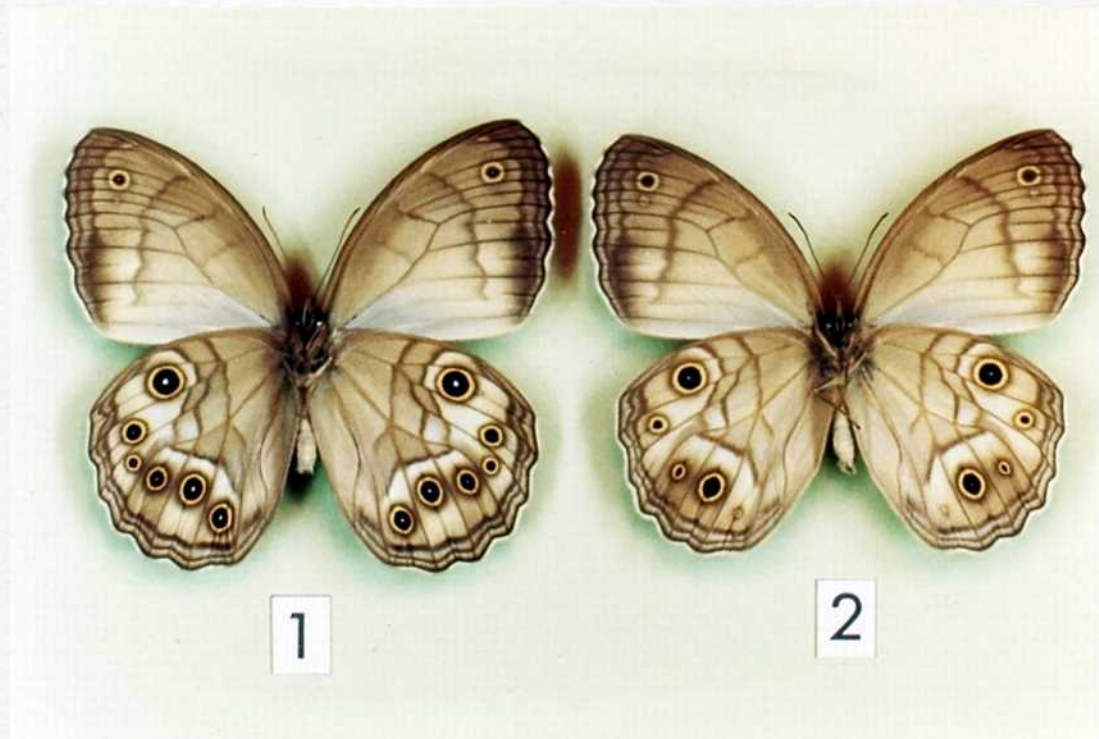
1983年5月14日、金沢市中尾で採集したオオヒカゲ幼虫より眼状紋異常型が羽化したので報告する。

写真に示す如く、後翅裏面、才4室の眼状紋が完全に消失し、才1、才3室の紋も著しく小型となっている。

この個体の各室の眼状紋の発達順位は6>2>5>3>1>4となっており、正常個体における大きさと必ずしも一致しないのは、興味深い。

なお、当個体では裏面の眼状紋に対応する表面の黒斑も退行していた。

文末ながら採集地に案内し、幼虫採集の手ほどきをして下さった
 浅井淳一郎氏、写真撮影して下さい下さった吉村久貴氏に感謝の意を表
 したい。



- | | |
|---------|-------------------|
| 1. 正常個体 | 1983. VI. 12 羽化 ♂ |
| 2. 異常型 | 1983. VI. 14 羽化 ♀ |

採幼・ウラナミアカシジミを求めて

吉村久貴・中西真雄・松井正人

巢の良く目立つウラナミアカシジミの幼虫は、採集し易く巢の特
 徴を覚えれば下から枝を見上げただけで、発見することができる。
 「高いクヌギの下枝で、よく横に張り出した部分の葉が良い。」(浜
 栄一；晩春から初夏にかけての蝶類幼虫採集その2；月刊むし14)
 を読んで、簡単にたくさん採れると思ひ込んだ1人が、2人を誘っ

て、成虫記録のある小松市ハニベ岩蔵院へ出かけたのである。

まず最初に道路右側のクヌギの下枝でよく横へ張り出した部分を捜すと、いろいろたくさん人の巣が付いていて、ひとつひとつの巣を開いてみると、そのすべては蛾のもので、巣を作るウラナミアカシジミは全く見つからず、巣を作らないアカシジミやミズイロオナガシジミが見つかった。

ハニベの公園では大きなクヌギがあまりなく小さなクヌギを捜したせいが見つかるのは、アカシジミとミズイロオナガシジミばかりで、特に林内の空間にある2~3m位のクヌギ、更に地面スレスレの枝からはたくさん見つかった。

狙いはウラナミアカシジミであるので、ちょっと場所をかえ、大きなクヌギのある場所へ移動し、道路側へ大きく枝を伸ばしたクヌギにアタックしてみると、これまた蛾の巣や幼虫がたくさん付いていた。

蛾の幼虫ばかりでもうやめようかと思っている頃、終令になったばかりの幼虫がひとつ見つかった。

3人で巣の作りぐあいをたんねんに観察して、良さそうな枝に再度アタック、そして夕方までに終令になったばかりの幼虫を更に3例見つけた。

半日に3人がかりでウラナミアカシジミはたった4例しか見つからなかったが、アカシジミやミズイロオナガシジミがたくさん見つかったことから考えると、見つけ方が悪いのではなく、ウラナミアカシジミが少ないと考えた方が妥当だと思われる。

最後にたったの4例ではあるが、ウラナミアカシジミの巣はクヌギの葉2枚を簡単にくっつけたものであり、1枚の葉で作られたものはすべて蛾の巣であった。

ライトトラップに飛来したオオムラサキ

嵯峨井淳郎

1984年も数十回にわたる蛾の夜間採集を試みたが、その折にオオムラサキが、2頭ライトトラップに飛来したので記録しておく。

1984-7-13

1♂採

石川郡尾口村岩間

1984-7-18

1♂採

"

鮮度は比較的良好。2頭とも筆者保管。

白山スーパー林道にてウラナミシジミを採集

嵯峨井淳郎

昨秋(1983年)、白山スーパー林道経由で、美濃白鳥-高山-平湯方面へ職場の同僚とドライブに出かけた折、ウラナミシジミ1♂を採集したので記録しておく。

1983-9-22 1♂ 白山スーパー林道三方岩岳駐車場
(標高1570M)

なお、採集地は岐阜県側となる。当日は小雨がぱらつき、下界の展望は皆無でわずかな雲の切れ間をぬって差し込んだ太陽光に、チラチラと飛び出したものである。

果して何化目の個体なのか、現地で発生したものなのか、低地より上昇飛来したものなのか否かは全く不明である。

金沢市卯辰山でスジボソヤマキチョウを目撃

吉村 久貴

1983年10月3日、金沢市卯辰山相撲場にて、スジボソヤマキチョウ1♂を目撃したので報告する。

スジボソヤマキチョウは、県内に広く分布し特に秋になると個体が目につく様になる。

しかし、食樹がクロウメモドキであるため生息範囲がやや山手でキゴ山、医王山、湯涌、倉ヶ岳、森本～県境内山峠などが知られているが、卯辰山～健民公園にも生息しているとなると、非常に身近な蝶のように思われる。

データ 1983.10.3 金沢市卯辰山

スジボソヤマキチョウ 1♂ 目撃

薬草園でのアサギマダラの目撃記録

吉村 久貴

1984年10月10日、金沢市宝所金沢大学薬学部薬草園にてアサギマダラ1exを目撃したので報告する。

当日はやや曇りの天候で、アサギマダラはゆっくりと温室前を飛び回っていた。

近藤先生のはなしでは、数年前から秋になると時々目撃されるよ

うだが、発生を繰り返している様には思われない。

夏期には、白山地方で多数のアサギマダラが確認されているが、金沢市の低山地でも医王山の他に、犀川ダム、倉ヶ岳へ作者で確認されており、秋になると標高の低いところへ舞い降りて来るようだ。

獅子吼高原にてウラクロシジミを採卵

松田 俊郎

昭和59年10月20日(土) 石川郡鶴来町獅子吼高原においてウラクロシジミを採卵したので報告する。

この日はメスアカミドリシジミを目標に採卵していたのだが、あまり採卵できなかったため、奥獅子吼の方へと足を向けることになってしまった。

ウラクロシジミを採卵できたのは、獅子吼から奥獅子吼へと続く道で、奥獅子吼の道標のある入口であった。

ふと、マンサクのあるのに気づき、一応見てみようと思って捜して見たところ、卵がついていたわけである。

採卵数は8卵であった。鶴来町におけるウラクロシジミの記録は新産地となる。^{*1)}

*1)

石川県産セフィルス17種の分布について 翔 №29 (1982)

中宮でのバーベQ大会と幼虫採集

山岸 善世

1984年6月3日に石川県石蝶談会のバーベキュー大会が白山中宮のスーパー林道入口の河原で行なわれた。

この時、アサマシジミ、メスアカミドリシジミ、ウラクロシジミ(野中氏よりいただいた)の幼虫を採集した。これらの羽化報告をしたい。

アサマシジミ 3555羽 1984. VI. 19~28 羽化

メスアカミドリシジミ 255 1984. VI. 18 羽化

ウラクロシジミ 15 1984. VI. 19 羽化

〈ニューフェイス紹介〉

* 野村 明氏 (生年月日: S 34. 2. 8 血液型 A型)

金沢市京町 3-30 (TEL 52-5808)

蝶採集は今年初めてのこと。採集道具 展翅用具 標本箱 参考図鑑類など一式について、チョウキヲホマシ宅にて耳学にいじまがなかつたが、今期早速ゼフィルスに狂った模様。

本職は加賀友禅の彩色。ムシ屋としてはかなり果色。京都蝶の会には、西陣織の絵着きさんがいるみたいだから、この「翔」の表紙は野村氏にお願いすることになろう。昆虫以外の趣味、バドミントン。金沢市出身、もちろん独身。

* 田辺 幸雄氏

河北郡内灘町何陽台 2丁目 33 (TEL 37-8528)

岐阜県神岡町出身。30才。今年10月28日にお嫁さんを娶ったばかりの新婚さん。新妻はムシには全く興味がないとのこと。中学生のむところ、熱心にネットを振ったことがあったが、しばらく沙汰やみとなっていた。最近 CAMERA で撮ることに興味があり、今後、写真でムシを撮ることを宣言された。仕事の関係で石川県に永住が決定の由。血液型 B型。

— チョウキヲホマシの独断と偏見 —

《例会の記録》

◆ 1984-10-6 (土) 於中西宅。PM 7:00 ~ 10:30'

出席者 中西夫妻、松井夫妻、竹谷、野中、吉村、勝海、山岸、
#村、近藤 SAGAI、野村

(テーマ) ・竹谷氏、石川氏の会経由で白峰村博物館展示用標本の提供依頼について

・新会員(野村明、田辺幸雄氏)の紹介

・北国新聞ムシアカジミ事情

・ムシアカジミ 60冊採集経緯

・今後の「翔」の発行体制について、40部作成とする。ほか、10人程度の日本蝶蛾界のオブラに呈呈するためのリストアップを野中、松井両氏で行なう。

- ◆ 1984-11-16 (土) 於中西宅 PM 7:00 ~ 0:00'
- 出席者 中西夫妻 松井夫妻 竹谷 野中 吉村兄 近藤 金子
SAGAI と新会員の田辺孝雄氏の計11名。
- (テーマ) ・ 翔46号の作成配付
 ・ 野中氏より採卵記録簿の記入依頼について
 ・ 今後の翔冊編集について (吉村)
 ・ 今後のセウ採卵調査について (特に能登方面・ヒサマツ... 北づめ11/25は石動山・宝達山 四りを調査する) (松井)
 ・ 今年の採卵情報 (中西)
 ・ 大島氏へ依頼中の標本箱の配布について 今回は4300~4400^冊と定めた。
 ・ 県産普通種のデータ集積について
 ・ カセガ流行のキザシが見え 欠落者の中にその徴候が見え始めている etc.
- 〔嵯峨井記〕

目 次

中宮のスキタニルリシジミ	-----	中西重雄	1
河北郡津幡町太田地区にてオオヒカゲ幼虫を採集す	-----	中西重雄	1
1983年はアサマシジミの大量作	-----	松井正人	2
オオゴマシジミ採集行	-----	吉村貴己	3
オオヒカゲの眼状紋異常型	-----	野中 勝	4
採卵・ウラナミアカシジミを求めて	-----	吉村久貴・中西重雄・松井正人	5
ライトトラップに飛来したオムラサキ	-----	嵯峨井淳郎	6
白山スーパー林道にてウラナシジミを採集	-----	嵯峨井淳郎	7
金沢市卯辰山でスジホソヤマキチョウを目撃	-----	吉村久貴	7
葉草園でのアサギマダラの目撃記録	-----	吉村久貴	7
獅子吼高原にてウラクロシジミを採卵	-----	松田俊郎	8
中宮でのバーベQ大会と幼虫採集	-----	山岸善世	8
ニューフェイス紹介	-----		9

翔冊 No.47

1984年12月1日(土)発行

発行： 金沢市大場町東871-15 松井正人方百万石蝶談会

校正・編集： 吉 村 久 貴